広報こすど
発行所 小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
編集発行印刷人 矢部藤三郎

本町通り道路舗装早期実現

外七請願を採択

十二月定例町議会

一般会計追加更正予算を含む議案二十四件につき去る十二月二十五日定例議会を開き、次の様な諸案件を可決しました。

一、専決処分の承認を求めることについて

（注　専決処分とは地方自治法に規定せられて居り緊急を要し議会を召集する暇がないとき、町長は専決処分をして執行することになつて居り次の議会に提案して承認を求めることになつて居ります）

その一、小須戸小学校より横川部落に通ずる道路上通学用街灯の伊勢湾台風により決壊を復旧する経費と市場移転による諸経費

その二　町上水道工事その他に関する契約等について

浄水工事　村山祐吉　四、四八〇、〇〇〇円
配管工事　井上芳三　一、三五〇、〇〇〇円
濾過工事　瀬谷　照　一、九〇〇、〇〇〇円
高校専用教室増築工事　石田留作　五八五、〇〇〇円

一、小須戸町議員等給与条例改正について

従来の議員に対しては各町村の報酬と比較いたして見ますと甚だ低いので年額で支給をいたして居つた報酬を月額に改めました。

議長　月額四、〇〇〇円
副議長　〃　三、五〇〇円
常任委員長　三、三〇〇円
議員　三、〇〇〇円

尚今後は特別委員会（一人三〇〇円）を、除く会議には費用弁償をしないことになりました。

一、小須戸町特別職員の職員退職手当支給条例の一部を改正する条例

町長、助役、収入役の特別職の職員が退職した場合の退職手当の率を左の表に定めました。

この退職手当は退職当時の勤務年数と退職の日に於ける給料月額に別表に定める割合を乗じて得た額となつて居ります。又特に在職期間中その功績顕著と認める者に対しては二割の範囲内に於て増額支給することが出来るようになつています。

（特別職退職手当金額算出表）

勤続年数	退職手当乗率
一年	一、三
四年	八、四
八年	一六、七
十二年	二五、〇
十六年	三三、四
二十年	四一、七
二十四年	五〇、〇

一、中蒲原郡小須戸町納税奨励金交付に関する条例の設定について

今までの「納税奨励規定」を条例に改めたもので、税金を納税期限内に納入した場合に於ては納税金額の三％を報償金として交付し、納期限を過ぎた場合は反対に延滞金を徴収します。

一、中蒲原郡小須戸町露店市場管理条例の一部を改正する条例

これは御承知の市場移転に関するもので、内容は開設位置が変更されたことと、メートル法実施に伴い出店の間口をメートル法に改めたものであります。

一、小須戸町町営住宅管理並使用料条例の一部を改正する条例

これは県立小須戸病院の堤防下に昨年建築をいたしておりました一戸建住宅料を月額八〇〇円と確定いたしましたものです。

一、町有財産処分に関する件

旧小須戸小学校地内の不用な土地を払下げをすることにいたした訳で約四十坪の予定です。

一、寄附金採納願に関する件

矢代田郵便局長保科栄氏が矢代田小学校の教育施設、及び第二保育園遊具の設備へ金拾五万円を寄附されましたことの採納であります。

一、前議会以来各常任委員会に附託調査研究をいたしました左記請願事項をそれぞれ委員長の報告通り可決確定いたしました

1 小須戸町大字矢代田地区水路水害による復興費補助請願に関する件。
2 小須戸地区保護司会助成費請願に関する件。
3 小須戸町大字鎌倉地区道路拡張工事に関する助成金交付に関する件。
4 中蒲原郡小須戸町特別職の給与に関する条例付託に関する件。
5 小須戸町本通り道路舗装早期実現請願に関する件。
6 給与所得者の町民税軽減請願に関する件。
7 白根市上八枚外二部落電話架設補助請願に関する件。
8 小須戸町天ヶ沢地区道路ヒューム管伏替費補助請願に関する件。

一、小須戸町公平委員選任の件

小須戸　海津　良助
〃　関口　清七
〃　五十嵐若吉

公平委員会委員の主な任務

1 職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する措置の要求を審査し、判定し、及び必要な措置を執ること。
2 職員に対する不利益な処分を審査し及び必要な措置をとること。

一、小須戸町固定資産評価審査委員会委員選任の件

横川　吉田　幸助
小須戸　大関　勝治
矢代田　田沢　俊治

固定資産評価審査委員の主な任務

1 固定資産課税台帳に登録された事項（土地台帳又は家屋台帳に登録された事項を除く）に関する不服を審査決定する。

諏訪神社二年参り風景

あたたかい この真心

愛の募金あれこれ

町民各位の御協力による町民助け合い募金は次のような成果をあげております。（昨年十二月末現在）

▲共同募金
一一〇、八二七円
▲歳末助け合い募金
三三、六七〇円
▲歳末援護寄附金
連合婦人会より
一〇、〇〇〇円

尚協同募金については目標額（一四五、九六〇円）に尚三五、一三三円の不足であります。皆様の御援助により是非完遂したいものであります。

年頭あいさつ

町長　岡田六太郎

実にあわただしかつた猪年も大過なく見送り昭和三十五年鼠の新春を迎いまして実に御同慶に堪えません。顧みますれば昨年度は正に五ケ年続きの豊作でありまして農家各位の御喜びも一層の事と思います。之はひとえに各位が至高の農業技術を運用され且つ不断の努力によりまして凡ての悪条件を克服された賜でありやがては町部にも頒たれまして町行政の運営のため貢献して頂かれますので敬祝の至りであります。

さて当三十五年度に置きまして為さねばならない行政を見ますとき、大概前年度からの継続的性格を持つ重要事項ばかりで先ず新農村建設の計画は正確な調査基盤に立つて進められて居り次に此の度三ケ年計画で起工されました小須戸橋の永久橋架換えでありますが、幸い町民各位は勿論直接利害関係を持たるゝ方々より厚い理解と協力を得まして順調に第二年次に立ち入つたのであります。しかし本年度工事の進捗如何はその計画年度内の竣功を左右する鍵でありまして各位と共に一層の努力を払わねばならないと存じて居ります。次は浄水道の拡張工事であります。之れは壱千四百万円の起債によりまして二月中竣工を目指して進めて居ります。又県立小須戸病院設置の際県より条件付けられてあります伝染病隔離病舎の建設は新津、五泉、田上と共に難々計画を進め其の見通しも実に明るいので此の完全にして高級な医療施設を一層広域性を持たせ経済的運営によりまして、地域住民同病患者の生活福祉を図り、県の要請に応えたい決意であります。次に町部主要街路の改良と舗装事業であります。本工事は大凡そ三十七年度の完了を目標として進めて居りますので町民各位より負担や犠牲や協力を得一面複雑な利害関係を調整しまして初期の目的を達成したいと存じます。尚信濃川河状整理事業は本年度事業予算壱億弐千万円の獲得貫徹により計画年度内完成の為め運動して居りますので本町に於ても造成土地活用の立前から工場誘致を計画し、尚又都市計画を樹立して多年に渡る宿望を果したい所存であります。之等は一つとして町作りの為め断じてよろめき取り残してはなりませんので、今年こそはの気がまえで直属公務員の工夫と努力を重ねさせ町議会と共にあらゆる智謀才覚を絞り町民各位より負担と犠牲と協力を寄せていただき且つ隣接市町村よりの御支援を得まして福祉町建設の為め邁進したい覚悟であります。依て私は光輝に充ちた年頭に当り皆様への要請と所信を申し述べまして御挨拶と致します。

教育委員会 人事移動

今回左記の通り移動が発令されました。

役場税務課へ　森田　昭司
公民館へ　栗林　毅
小須戸小へ　高橋忠次郎

民生委員決る

町民生委員は十一月末に三ヶ年の任期満了となり、新らたに選考された委員で十二月より発足した。委員次の通り

	小須戸	宮崎　純能
	〃	大関　勝治
	〃	広川　末蔵
	〃	竹内　智淳
新	〃	丸山　金作
	横川	吉田　幸助
	小向	野崎　春作
	水田	鈴木　市助
新	鎌倉	米田　タケ
	天ヶ沢	土田　照山
	矢代田	小柴吉三九
新	新保	古田　テイ
新	竜玄	丸山純一郎

日時 1月15日 午前10時

成人式

会場 小須戸中学校

学校、保育所 施設費へ御寄附

矢代田　保科栄氏の美挙

亡父栄吉氏の後をついで矢代田郵便局長に就任された保科栄氏が、今般地元矢代田小学校並に第二保育所の施設費として金拾五万円を寄附されました。

小学校では音楽による情操教育振興の為にオルガン二台、及び体育施設として雲梯を、保育所では遊具として登はん棒を購入、それぞれ設置しました。

町当局でも近く感謝状を贈呈すると共に、国へ紺綬褒章を申請することになつております。年頭まことに心温かいニュースであります。

年頭所感

教育長　佐藤五郎

明けましておめでとうございます。

昨年中は教育行政全般にわたつて町民の皆さんから何かとお支援御指導をいただきほんとうに有難く深く感謝申しあげます。特に学校プール建設委員会を中心にした関係各方面の献身的な御活動と全町民のこれに寄せられた御援助によつてめでたくプール建設の大事業をなしとげていただき、更には夏季体育としても児童生徒を水魔から救い最も好適な水泳運動によつて体育の向上を図ることが出来ましたことは御同慶にたえないところであると共に教育委員会としてはここに改めて厚く御礼を申し上げます。本年もどうぞ昨年に倍して一層の御指導と御べんたつをお願い申し上げます。

終戦後すでに一昔半の新正月を迎えるに当つて私は民主主義の強化徹底ということについて考えてみたいと存じます。民主主義思想に相対する思想としては一応封建主義、共産主義等をあげられると思いますが、私達は、ついどうかすると、民主主義にそわないような言動をしがちなものであることを深く反省しなければならないと思います。そこで民主主義においては、第一に多数の意見に従うということがその原理であります。第二の原理は少数意見を尊重すること、第三の原理は第一、第二の原理の基礎をなすもので十分時間をかけてとことんまで話し合い（意見発表）をすることが大切なのであります。大は国家の政治から小は家族生活に至るまでこのような原理に従つて民主主義が果してよく行われているかということを考えてみなければならないと思います。或は権力を持つた者が不当の圧力を加えて多数意見をおさえつけたり、また権力を持たない側が自分達の言い分を十分主張せずに屈してしまつたり暴力を以て権力に対抗しようとしたり、或は少数側の意見を尊重しないで多数横暴になろうとしたりするようなことがないでしょうか。

紙面に限りがありますのでこの辺で筆をおきたいと思いますが以上述べましたことは終戦後言いつくされたことで新しい年を迎えるに当つて古いことを並べたてるようですが、このことは古いことだがまた永遠に新しい意義をもつことであると確信いたしますが故に新春の御挨拶として決してふさわしからぬものではないと存じている次第であります。

なぎさ 二題

年賀の合理化はいかが

新年祝賀式を利用して

正月一本化は軌道に乗つたようで、ことしはあまり是非の論も聞かなかつた。生活つていうものは、そういうもので、側もみんなそうなつてしまえば、案外抵抗を感じないで、普通のことになつてしまう。そこが新生活運動の付け目でもあるが、みんながそう考えて踏み切るまでが大変だし、ムリ押しをしたものは成功しない。だからといつて、言い出し手がなければ誰も考えてはくれない。めんどうなものだ。

そこで一つ、中学校では開校以来ずつと新年祝賀式をつづけて挙げて来ている。この町の方達はどこでもそうなんだろうと思つていらつしやるかも知れないが、実は異例の方なのだ。全国的に見てもやらない学校がずつと多い。

なぜ、これをやるのか。はじめの頃は名刺交換会を兼ね低会費で祝盃を挙げたりして、いわばこれで町民年賀の役割を果たさせようとしたものだが、矢代田でもやる、新保でもやる、二重になる、時間がぶつかるので、いつの間にか式だけになつたのである。

しかし、元日の朝式場に集まつて、国旗のもとに国歌をうたつて、誰彼なしにおめでとうを交わすことには、なんとなく心改まる気持がするいいものだ。

それは回礼をしたり、年始酒を出し合つたりして正月を楽しむ間柄もあつていいが、そこまで行かない関係で、一日の十時に学校へ行けば、みんな一遍に挨拶ができる。十一時にはさつさと帰れる。一文も使わないで、いとも清潔に年賀が果たされる。忙しい人はジャンパー姿で気軽に出かけられる。案内状も何もいらない。（年詣りに案内状を待つ人はないんだから）町の人が、あんまり大勢集まつて入り切れなくなれば、生徒には遠慮させてもいい。

こんなことは、どういうものでしょう。一つ考えて見て下さいませんか皆さん！（坂井）

町民の一斉休日

小須戸の町には一斉定休日は、不可能なのだろうか。一ケ月一回の定休日があれば、商店の使用人を始め家族全員が、それぞれその日を自分の時間とし、気楽に体を休め或は自由に自分の仕事が出来るのである。

町側としての一斉定休日も意義あると思うが、町の声はどうだろうか、どうしても休めない職場はどうしたら良いか、じつくり考えてみたいと思う。（新町A子）

「なぎさ」の原稿を募集いたします。町の問題やその他についての御意見など内容の如何を問いません。（編集部）

県立病院の完成から赤痢大量発生まで

昭和三十四年の当町十大ニュース

年末年頭を飾るマスコミ、ジャーナリズムの年中行事ともいうべき、十大ニュースは、今年も賑々しく発表されました。曰く「フルシチヨフの訪米」曰く「皇太子の御結婚」等々……。さてそこで、我が町の一ケ年を振りかえり、その足跡をたどつて見ることも、大きな興味と意義をもたらすものじやないかと考え、一日編集部でこれを検討する会をもちました。その結果一応出来上つたのが次のようなものでありますが、さて皆さん、いかゞでしょうか。お正月夕食後の団欒に一家こぞつて再検討御批判頂けますならば幸いです。

◎トツプは
県立病院の完成

A「去年一ケ年分の〝広報こすど〟からこれだけの資料を抜き出しておいたのだがどうだね。先ずトツプだが……」

B「何んと言つても県立病院の完成だろうな」

一同「文句のないところだね」

A「一部では何んだかんだの批判や反対もあつたが、でき上つて見れば本当によかつたというのが全町民の真意だろう。とにかく我が町における歴史的大事業であつたことは事実だ」

◎町長、町議会の改選
◎小須戸永久橋起工

C「二位は永久橋架橋かな」

D「いや待つてくれ。永久橋はまだ起工したばかりだから次へまわして、その前は町長、町議会の改選をもつて来たら…」

E「同感。特に町長選におけるあの三候補三つ巴になつての激戦はひどかつたからね」

F「ちよつと悪夢といつた感じだ。そしてそのしこりが今なお残つているようだ」

B「しかし考えようによつては、町民の成長への一つの試練だつたとも言いる」

A「では二位は町長、町議会の改選、三位を永久橋起工としよう」

◎学校プールの完成
◎新正月の実施
◎市場の移転
◎消防車庫の移転新築

C「四、五位あたりは目白押しだね。先ずプールの完成、市場の移転など」

E「消防車庫、庁舎の移転もある」

D「新正月の実施はどうかね」

F「うん。そうだ。農村部に根強く残つておつた古くからの因襲を思いきつて断ちきつたところに大きな意義がある。しかも前年も持ち出して失敗した問題だつたからね」

A「新生活運動の第一歩としても……」

B「しかし何んと言つても学校プールはヒットだつたね。子供達の喜びは言わずもがなだが、町民の関心と支持も寄附募金にはつきり表われている。約九十万円で予定額より十五万円の超過だそうだ」

C「関係当局の労苦も多としなければならない」

A「するとどうなる。四位がプールの完成か」

F「五位へ新正月を入れたい」

A「六位が市場の移転、七位へ消防車庫の移転と行くか」

B、D「異議なし」

◎新生活運動モデル町に指定さる
◎中学校産業教育研究指定校となる

D「さて次へ続くものというと……」

B「前の新正月と関連もあるが、県から新生活運動のモデル町に指定されたことは……」

C「良いことだろう。そう言いば中学校が文部省から産業教育研究校に指定されているよ。これなども将来の町を背負う少年達の教育の面から重要の問題だ」

A「では八位新生活運動モデル町指定、九位中学校の産業教育研究指定とするか」

◎赤痢発生

E「ラストはどんぐりの背くらべでちよつとむずかしいね」

F「ニュースバリューのあつたことから言いば赤痢の発生だろう。新聞にでかでかと出されたものだからすつかり全県に有名になつてしまつた」

B「罹患保菌者九〇名ではあまり名誉じやないはなしだね。それにからんで今後伝染病隔離病舎等について問題が残りそうだ」

A「では十位を赤痢発生として、残つたものをあげて見ると、

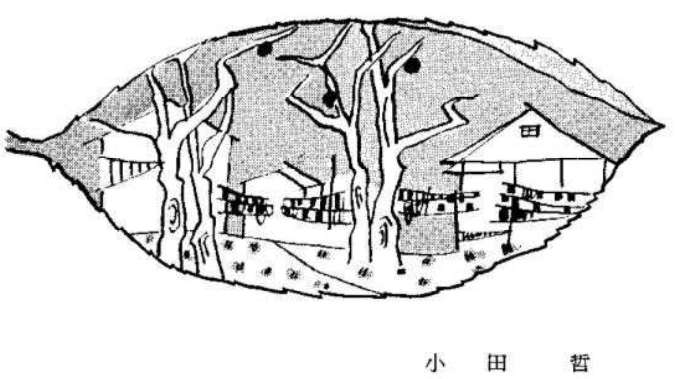
- 渡辺厚生大臣の来町
- 水道拡張工事起工
- うでこき保育所新設
- 定時制高校専用教室の新築

と言つたところだね。最後に一位より十位までをわかり易くまとめて見よう。」

昭和三十四年
小須戸町
十大ニュース

一、県立小須戸病院完成
二、町長、町議改選
三、小須戸永久橋起工
四、学校プールの完成
五、新正月の実施
六、市場の移転
七、消防車庫、庁舎の新築移転
八、新生活運動指定町となる
九、中学校、産業教育研究指定校となる
十、赤痢の大量発生

風景



小田　哲

お願い

農林業センサスに御協力ください

国際条約に基く一九六〇年農林業センサスが二月一日現在で全国の農家及び林家について行われます。

この調査は世界の農林業の発展を図るため必要な各種農林業統計資料を作ることを目的として、世界一〇〇余国が参加して行われる世界的な調査であります。

国内的にみても、農地改革後十年を経た今日、農業経営について幾多の問題点が山積し、わが国の農業が曲り角にたつているといわれておりますので、この実態を明らかにし、農業生産力の飛躍的発展と農家経済の安定向上を目的として適切な農政が行われるための基礎的資料を整備する必要があるわけであります。

また新潟県として同時に県農畜産物流通調査を行いますが、この調査は主要農畜産物の流通状態をは握して、県および市町村の農業政策に貴重な統計資料を提供しようとするものであります。

つきましては来る二月[illegible]致しますので、農林大臣[illegible]接各農家に参上して調査事項についていろ〳〵お聞きすることになつておりますから、そのせつはこの調の趣旨[illegible]御理解のうえ御協力下さるようお願いいたします。

（役場経済課）

水稲増収競作会

団体一位

横川浜農研

三十四年度本町水稲増収競作会は団体二〇点個人出品一七〇点で行われたが、団体、個人受賞者次の通り

団体の部

一等	横川浜農研A組	三石九四〇
二等	水田農研A組	三石八五〇
二等	小須戸第一農研B組	三石七六九
三等	小須戸第一農研A組	三石五七九
三等	龍玄農研A組	
三等	小向農研B組	

個人の部

一等	北陸五二号	吉田源吾	横川浜	四石一八五
一等	越栄	新井田達太郎	矢代田第一	四石一八二
二等		鈴木賢司	水田	四石一六六
二等	北起五二号	会田良治	横川浜	四石一三三
二等	オクマサリ	加藤清衛	小須戸第一	四石〇七七
二等	オクマサリ	小川久	小須戸第一	四石〇三三
三等	オクマサリ	岡田又雄	横川浜	三石九九六

以下十二名

随筆「つり」（続）

矢代田　竹竿

枯葦の寂寞たる川辺に竿じまいに暮れの中頃に出かけてみた。場所は西蒲の大鳥川の下流で、ガス会社の前の大曲りになつている所で尺鮒と六、七寸のものを十四ほど上げた。誠に寒い日であつたが、毎年この期節に意外な魚獲を楽しめるので出かける。丁度私の社員の妹がお産をしたと言うので、お祝に鮒でも贈ろうと思つて寒空に勇気を出してまる〳〵と着込んで達磨のような格好で出かけた。はたせるかな戦果上々尺鮒二つと六〜七寸共に十三、手も足もかじかんで鼻水も膝小僧に垂れ落ちながらも笑いが止まらぬ楽しい釣りだつた。是れは釣天狗の万八談議でない。証拠には釣友の新潟朝日編集長岩崎氏が、しかと見とどけて行つたから話半分などと疑う余地はない。かつて釣先輩のお供をして初釣りに行つた時の光景を今でも思い出す。千葉の佐原に一泊して朝早く船頭を雇つて出掛けた。枯れ真孤の間を舟底に単調な水音をたてゝ水路をまがりくねつて、広い湖畔に出た。舟を東よりにとめて、早速丈二の竿を三本扇形に打込む、餌は赤虫、二人の間には炬燵が入つていて、水筒仕込の生一本が程よく温まつている。まず仕掛をすませてあたりの景色を眺めまわす。朝は相当に冷えこんだが空は晴れあがつて上々の天気、中天にかかつた太陽は冬の日とは思えぬような強い暑さであつた。水面に光が反射してまぶしく輝く、上衣を脱いでも汗だくである。

向うの岸近くでムクッチヨが二羽、これも暑いせいかしきりに水にもぐる。先輩は暑いといいながら頬かむりをして、水筒の酒をチビリ〳〵と傾けている。酒と陽と水面の反射で真赤である。「こうなりや釣りなんかどうでもいいやネ」と言い出す。私の浮子がフッと引込む、ソラ来た、とあわてて竿尻に手を伸し、きいてみると手にグッと応える。そのままゴッゴッと手もとに引きよせた。そばの先輩は、ソラ大きいぞと杯を片手に拍手の真似をする。九寸程の真鮒だ。この味天下一品である。又前の穴に打込む、まもなく魚信がある、誠におかしなもので、くる竿に続けてくるが、こない竿にはさつぱり釣れない。先輩の竿にもあたりがあるが、もうすつかり酔つていて、「どうでもいいや」と言うものゝそこは釣人「おいでなすつたようだ」と杯をゆつくりと置いて膝を向きかえて竿尻をとり吸いこまれた竿先を立て直す「これも大物らしい」とたんに「尺鮒だぜこいつ」と世にも楽しそうな口振りである。さん〳〵あやして手許に取込み「ウン」と言つて両手でかかえ、しばし眺めている「いい型だ」と言つて水中にポイと放りこんでしまつた。それを見ていた船頭があわてゝ逃げられてなるものかと手をのばして取ろうとすると酔客はニヤリとして「逃がしてやれよ」と言う。鮒はチヨツトとまどつたように水面に横になつたが、体の自由に気がついてスッと立直つて水底深く消えていつた。うらやましい趣味だと今でも感服している。

季節の料理

煮こみおでん

材料　五人前

大根半分、こんにやく半丁、ぎんなん三十粒、くしだんご五本、ガンモドキ五個、人参一本、里芋十個、がら一羽分、削節少々、とり肉二〇〇グラム、酒、調味料

作り方

煮込みの素

このスープのとり方はがらをすこし叩いてくだき加減にして湯洗して鍋に入れ、水八合加え強火で沸します。

煮立つたら弱火にして浮き上がる泡かすを手まめに掬い出すように注意しながら一時間位煮出して約五合の素汁をとります。これを布巾で一たんこします。

再び鍋にもどし削り節を加え、一、二分したら火を消して五分間むらし加減にしてからまた布巾でこします。これが煮込み用の素汁になります。

味つけは吸ものより少し濃めに味をつけます。

おでんの種

大根は五ッに輪切り熱湯に塩を加えた中で五分間茹でます。（厚切りの場合）これを一たん水に通して洗つて臭味をぬいておきます。

ガンモドキ串だんごは一度湯通しをしてくせのある油気をぬいておいた方が煮込の時このうつり香がなく素適な味合いでいたゞくことができます。こんにやくは庖丁を入れてから空鍋に入れ、から煎をして少し水分をとつておきます。

ぎんなんは塩茹にして小揚子に三個ずつさします。里芋は塩をまぶしずら〳〵を取つておきます

煮込み方

素汁を五合沸し塩小さじ三杯、しよう油大さじ一杯、酒大さじ二杯、砂糖大さじ一杯いれてわかし味見をして味の素を少し多い目に加えます。

この汁へ下ごしらえした種を入れ軽い落蓋をして気永に煮込みます（この時てきぎに味をつけてください）薬味としては七色唐からし、煉からしを用意して適宜おでんにつけながらいただけば一そう味を引立てますしその煮込汁も一諸に風味します。煮込みのこつとしてはその素汁をおいしくとることと、うすく味付にして気永に煮込んでそれぞれの持ち味を生かすように煮込むことが大切です。

さあ家中そろって

第22回 懸賞クイズ

考えましょう

今年は子（ね）年で、「ねずみ」の年だといわれていますが、これは十干十二支という中国の考え方から出たもので、昔は時、日、年、方角やうらないにも使いました。もと〳〵子がねずみを意味したわけではないのですが、十二支に動物を当てはめたのは日本人です。

さて次の中から◎十二支にあてられている動物はどれでしょう。なお来年から以後はどのような順につゞくのでしょうか？

㋑いのしゝ㋺きりん㋩はと㋥にわとり㋭めじろ㋬へび㋣とかげ㋠くま㋷りゆう㋦すゞめ㋸もぐら㋾とら㋻わし㋕からす㋵ひつじ㋟たか㋹さる㋞いなご㋡つばめ㋧ねこ㋤いね㋶らいおん㋰むかで㋒うさぎ㋨みゝず㋔ぞう

前号正解

昭和三十四年度
一反当り
（十年間の平均）
約二石五斗三升八合

◎正解者
小須戸　荒木則子
　上田茂樹
　荒木富夫
矢代田　穴沢スミ子
　穴沢正雄

日時　1月16日　午前9時半

町民芸能祭

会場　小須戸小学校体育館

師走句会報

小須戸町俳句同好会

日々白き遠山の雪花八ッ手　水月
朝寒や胃液検査の管をのむ　亀朗
目貼はることも小さな年用意　ひさ
保育所も閉じて久しく冬の山　虚秋
つりさげた南瓜も煮えて冬至の日　一陽
忘年会だけにまみゆる男かな　山葵
芦刈るや雉とび出して川越ゆる　渓灯
煤煙の低く流れて干大根　香月
東京タワー見上げる冬の空晴れて　まつし
バスを待つ枯野没日愕然と　石秋
風除けに斧立てかけて山案内　向日葵
妻の診断待つ間に炭火細りけり　流水

昭和三十五年

一月購入図書

◇日本の歴史　(7)(10)(11)　執筆代表者　岡田章雄　外
◇幼児教育全集　(2)(3)　編　児童愛育研究会
◇第四次元の小説　編　クリフトン　ファデイマン
◇鳴門秘帖(下)　吉川英治
◇中国料理　中央公論社
◇自由との契約　(三)
◇ハムレット　シェイクスピア
◇日本三文オペラ　開高健
◇日本の曲角　近藤俊清
◇雷電(一)　尾崎士郎
◇日本新おんな系図　大宅壮一
◇キャンパス一一〇番　曾野綾子
◇冬山の掟　新田次郎
◇世界大ロマン全集
　宝島　ロバート　スティヴンスン
◇快傑ゾロ　ジョンストン　マッカレー
◇罠　棋本捨三
◇夜の波音　阿川弘之
◇劣等感　小松摂郎
◇若妻学級　江田忠
◇演技しない主役たち　羽仁進
◇家庭看護の実際　大原三四二
◇薄桜記　五味康祐
◇加藤清正(一)　村上元三
◇お嬢さん刑事　佐川桓彦
◇新吾十番勝負(四)　川口松太郎
◇雨夜の星　壷井栄
◇毒の矢　横溝正史

珠算競技大会

種目　見取算　乗、除算　読上算　暗算
競技方法　（個人）　小学校の部、中高校の部
日時　一月二十四日　小学校の部午前九時より　中高校の部午後一時より
会場　小須戸町公民館　二階
主催　商工会　公民館